| | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|
| 講義名 | ドイツ語Ⅱ | | | | |
| 科目区分 | グローバル | | | | |
| 担当教員 | 海老原 由美子 | | | | |
| 開講期・曜日・時限 | 後期 木曜日 ２時限 | 授業形態 | | | |
| | 2019年度 人間社会学部 人間健康学科 スポーツマネジメントコース／2019年度 人間社会学部 人間健康学科 スポーツ健康コース／2019年度 人間社会学部 人間健康学科／2019年度 人間社会学部 観光学科 ホテル・ブライダルコース／2019年度 人間社会学部 観光学科 観光事業コース／2019年度 人間社会学部 観光学科／ | | | | |
| 履修開始年次 | ２年生 | 単位数 | 2 | 備考 | |

## 主題と概要

ドイツ語入門（ドイツ語Ⅰ）で学んだドイツ語を復習しながら、様々な新しい場面での表現を学び、体験学習を重ねます。ドイツに語学留学した Seiko に自分を重ね合わせて、パーティーに行ってみましょう。昨日パーティーで何を飲んだの？始めて、過去について話せるようになります。やがて訪れるクリスマス、ジルベスター（大晦日）、新年。ドイツでは？日本では？それぞれの国の人々の祝祭の過ごし方について学びます。聖子はベルガー一家の旅行で留守番の大役も果たします。そして留学の一年が終わり、お別れパーティーです。聖子は一年を振り返ります。「もっと時間があったら、もっとドイツ語を学べたのに。」
実際に使える身近な表現を学んだ後に、文章の規則性に気づく。このプロセスを大事にして文法を学びます。まずは表現を学び聞き、声に出して体験学習し、文法へ。すべて、ペアかグループワークとなります。ドイツ語と取り組みながら、ランデスクンデ（文化や習慣）も学びましょう。

## 到達目標

過去の表現が可能となり、表現の幅はぐんと広がります。また、ドイツで最大の祝祭、クリスマスの様々な習慣をドイツ語で学ぶことで、ドイツが身近に感じられることでしょう。日本の大晦日や新年についての表現を学んで、異文化理解への一歩を踏み出すこともできるようになります。留学生の方々も自国の祝祭文化と比較してみてください。自国の文化を表現することは意外に難しいのです。是非、この機会にドイツ語でのその表現をマスターして欲しいと思います。もちろん、初級ですから、簡単な表現からはじめましょう。ベルガー一家の旅行に際し、ドイツでの休暇の過ごし方も学びましょう。いつか、ドイツへ旅行したときにも役立ちます。
「もしもっと時間があったら、もっとドイツ語を学べたのに。」という聖子と同じくらい、ドイツ語とドイツを体験する。それが目標です。

## 提出課題

毎回の授業の復習として、教科書に添付されたワークシートはもちろん、教科書の内容を補うワークシートの提出が課題となります。週に一度の授業ですので、この課題提出は評価の重要なポイントとなります。

## 課題（レポートや小テスト等）に対するフィードバック

オンライン授業となり、課題は提出していただきますが、解答もオンラインで提示することになるため、自分自身でチェックする必要があります。双方向オンライン授業の中で、皆さんが提出された課題のミスの傾向などお伝えするようにします。

## 評価の基準

平常点（出席 － 15%、提出物 － 25%）40%
筆記試験（中間テスト － 25%、期末テスト － 25%）50%
発音チェック（中間 － 5%、期末 － 5%）10%

前期は定期試験を行わないことになりましたので、授業中に中間＆期末というかたちで、テストを独自に行うことで、評価に結びつけたいと思っています。

## 履修にあたっての注意・助言他

教科書（ワークブック付き）は必ず、買うようにしてください。音声は教科書にダウンロード・ストリーミングのurl があります。聞き取りに力を入れたいので音声をよく聞くようにしてください。音には慣れることが一番だからです。ペア、グループでのワークが中心ですから、互いに助け合って、自発的に授業に参加すれば、ドイツ語力がついてゆきます。

## 教科書

| | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|
| .『自己表現のためのドイツ語1<プラス>』. | 板山眞由美　塩路ウルズラ　本河裕子　吉満たか子 | 三修社 | \ 2600 | 978-4-384-12303-6 |

## プリント資料及び参考文献

＜推薦辞書・サイト＞
アポロン独和辞典　同学社　/　辞書サイト　glosbe

## 授業計画

1. L7　パーティーの後　「何を飲んだの？」habenを使って現在完了形で過去を表現する。
2. L7　パーティーの後　「昨日何時に帰宅したの？」sein を使って現在完了形で過去を表現する。
3. L8　クリスマス　　ドイツのクリスマスの過ごし方1→クリスマス市での買い物。
4. L8　クリスマス　　ドイツのクリスマスの過ごし方2→贈り物のシーズン。「～に－－－を贈る」の表現。
5. L9　大晦日の晩　　ドイツの大晦日の（ジルベスター）晩の過ごし方。
6. L9　大晦日の晩　　日本の大晦日の（ジルベスター）晩の過ごし方。
7. L7～L9のまとめと復習
8. 中間テスト（筆記試験）と発音のチェック
9. L10 ベルガー一家の旅行　　旅行の準備。「聖子が一緒に旅行しないのは残念だわ」
10. L10 ベルガー一家の旅行　　留守番の聖子がベルガー一家の不在を伝える。
    間接疑問文や従属接続詞を使って表現の幅をさらに広げよう。
11. L11 お別れパーティーで　　一年を振り返り聖子がアランとの別れを惜しむ。
12. L11 お別れパーティーで　　一年を振り返り過去の出来事を書く→助動詞の過去形を学ぼう。
13. L12　もしもっと時間があったら　願望を表現する→接続法を使ってみる。
14. L12　もしもっと時間があったら　相手の願望を尋ねる→　〃
15. 　まとめと期末テストの準備

## 授業形態（アクティブ・ラーニング）

| | |
|---|---|
| | ア：PBL（課題解決型学習） |
| | イ：反転授業（知識習得の要素を授業外に済ませ、知識確認等の要素を教室で行う授業形態） |
| | ウ：ディスカッション、ディベート |
| ○ | エ：グループワーク |
| ○ | オ：プレゼンテーション |
| | カ：実習、フィールドワーク |

## 準備学修（予習・復習等）の具体的な内容及びそれに必要な時間

復習を重視します。復習プリントを必ず課題とします。それが次回の授業への理解に繋がります。
復習する習慣をつけてください。教科書を開いてみる。音声を聞く。授業でトレーニングした会話文を音読する、新しく学んだ単語を書き出すなど、いろいろな方法を取り入れてみましょう。毎回1時間程度の復習をよろしくお願いします。

## 双方向授業の実施及びICTの活用に関する記述

## 実務経験の有無及び活用

## 備考

一回目の授業には必ず出席してください。履修への注意事項やアドバイス、授業の進め方など重要事項を説明します。受講生の理解度に応じて、授業の進度を調整したり、授業や課題の内容を変更する場合もあります。
全体として、発音を重視しますので、授業中の発音練習・会話練習に積極的に参加してください。